

2011年第1問

1  $a, b$  を実数の定数とする.  $x$  と  $y$  についての連立方程式

$$\begin{cases} y = |x-1| - |x-2| \\ y = ax^2 + bx \end{cases}$$

について以下の問に答えよ.

(1)  $a = 0, b = 0$  のとき, 解の組は  $(x, y) = \left( \frac{\text{ア}}{\text{イ}}, \text{ウ} \right)$  である.(2)  $a = 0$  のとき連立方程式の解の組  $(x, y)$  が 3 個あるのは,  $\text{エ} < b < \frac{\text{オ}}{\text{カ}}$  のときである.(3)  $b = 0$  のとき連立方程式の解の組  $(x, y)$  が 2 個あるのは,  $a < \text{キ}$  または  $\text{ク} < a < \frac{\text{ケ}}{\text{コ}}$  のときである.